

未就園児（0～3歳）の保護者向け説明会会議録

日 時 令和4年（2022年）5月14日（土）10：00～10：50

場 所 西コミュニティセンター第1・2会議室

参加者等 5名

教育委員会事務局	古 谷 久 乃	（教育総務部 部長）
	米 持 正 伸	（学校教育部 部長）
	飯 田 達 也	（教育政策課 課長）
	大 堀 圭 輔	（教育政策課 主査）
	丸 山 昇 悟	（教育政策課 担当者）
	渡 辺 真 也	（教育指導課 主査指導主事）

1 意見交換

（参加者）

閉園時期の決定は、いつ、どのように判断するのでしょうか。

いつまでに閉園時期を決めようとしているのでしょうか。

（教育委員会事務局）

現在、大楠連合町内会の各町内会の回覧で意見を募集し、引き続き大楠幼稚園関係者連絡会において、在園児保護者、町内会長等からも意見を伺いながら、判断します。

（参加者）

今後、保護者への説明会は予定していますか。

（教育委員会事務局）

大楠幼稚園関係者連絡会、在園児保護者向け説明会を予定しています。

（参加者）

閉園後の施設はどのような用途で利用されるのでしょうか。

（教育委員会事務局）

大楠幼稚園関係者連絡会では、学童クラブ、放課後子ども教室、子どもと高齢者が集える場所として活用してほしいという意見が出ています。

学童クラブや全児童を対象とした放課後子ども教室をこれから横須賀市ではすべての小学校に設置していく計画がある。大楠小学校の現状では、空き教室が無い状況であるため、学童クラブからの要望があっても、放課後子ども教室を設置しようとしても、設置できない状況があります。

(参加者)

放課後子ども教室は具体的にどのような活動内容でしょうか。

(教育委員会事務局)

放課後子ども教室は、勉強や遊び等を経験します。

(参加者)

未就学児も放課後子ども教室は利用できますか。

(教育委員会事務局)

対象者は小学校に通学している子どもを対象としています。

(参加者)

未就園児や保護者同士の交流ができて集える場があると良いです。大楠幼稚園がないと交流する場が施設としてはありません。

大楠地区は環境が豊かな教育が実現できるため、大楠幼稚園がなくなった後も、私立の幼稚園を誘致し、大楠地区の環境を使った教育を視野に入れてほしいです。

大楠幼稚園を卒業した子は大楠小学校への入学がとてもスムーズで、小1ギャップを感じさせません。それは、園と小学校との交流がされており、地域に根差した、魅力ある幼稚園だと思います。そのような大事な部分は残してほしいです。

(参加者)

閉園自体は、この先いくら子どもが増えても決まっていますか。

(教育委員会事務局)

閉園については、すでに教育委員会で決定をしています。また、閉園の理由にも記載しているとおり、市立幼稚園の役割を果たしていることから、今後、入園者数が増えた場合でも、閉園の方向性は変わらないと考えています。

(参加者)

他の私立幼稚園がやっている3年保育や給食、送迎等のサービスの拡充は考えていないのでしょうか。

(教育委員会事務局)

今までは、2年保育で、給食なし、送迎なし、預かり保育なしの中で、定員を超える募集があり、役割を果たしてきました。同じ状況の中で、入園児数が大きく減少していること、制度上、私立幼稚園の受け入れ態勢が整っていることから、市立幼稚園としての役割を果たしたと考えているため、サービスの拡充は考えていません。

(参加者)

大楠地区で考えたときに、私立保育園は無いのではないのでしょうか。

(教育委員会事務局)

西行政センター区域の私立幼稚園の定員に空きがあることを確認しています。

(参加者)

大楠愛児園は待機児童が出ていると思いますが、大楠幼稚園の場所を私立の認定こども園とする考えはないのでしょうか。

(教育委員会事務局)

確認できていないが、待機児童はいると思います。

民間企業の話になってしまうため、市役所の立場としてお答えすることは難しいです。ご相談ができるかできないかも含めて持ち帰らせていただきます。

(参加者)

横須賀市として、教育的な人数の目安はあるのでしょうか。

(教育委員会事務局)

市役所の他部局で別途計画を定めているので、その中で必要な人数等を整理していると思います。後日、回答します。

(参加者)

令和5年度末閉園となる可能性はあるのでしょうか。

(教育委員会事務局)

周知期間等を考慮すると難しいと考えています。

(参加者)

現在3歳の子どもが今から私立幼稚園に入ると、途中入園になってしまいます。幼児教育であれば、入園するタイミングを他の子と一緒にしたいと考えているため、閉園時期を早めに教えてほしいです。

2歳児は保護者同士の調べによると少し多いと聞いています。出されている案から1年延長し、令和7年度末廃園を希望します。

(教育委員会事務局)

一つのご意見として伺いますが、閉園時期については、各所で意見を伺いながら教育委員会で決定したいと思います。必要な周知期間等を総合的に考えながら閉園時期を検討していきます。

(参加者)

町内回覧により説明会の周知を行っていた中で、私に回ってきたのが申込日当日でした。回覧で全体周知ができているのか疑問です。町内会に入っていない方にも周知するよう検討してほしいです。

(教育委員会事務局)

周知に関しては、連休を挟んでいたこともあり、遅くなってしまったことは反省点であると考えています。周知の方法については、可能な限り広く周知していきたいと考えています。

(参加者)

私立幼稚園において、支援を要する園児の受け入れがあるのでしょうか。

(教育委員会事務局)

子ども・子育て支援新制度等により、受け入れなければならないとされています。

(参加者)

支援を要する園児の受け入れは、法律上は義務付けられているが、現実として、転園せざるを得ない状況もあると思います。現状どうなっているかを教育委員会が吸い上げて、実際に現場に出向く姿勢をとったほうがいいのではないのでしょうか。

(教育委員会事務局)

受け入れなければならないところを受け入れていないということであれば、所管する部局がきちんと指導、監督しなければならないと思います。

所管する部局と連携し、実情等を教育委員会として把握する必要があると考えています。

(参加者)

諏訪幼稚園が閉園した年は先生の数も減っていたのでしょうか。また、園児数は何人いたのでしょうか。

園児数が多い年を最後に閉園するのはどうでしょう。周囲では、2歳児が多いと聞いています。

(教育委員会事務局)

諏訪幼稚園の最後の年は先生4人で減っていませんでした。園児は11人でした。

おそらく、園児数が増えたとしても、それでも少ないと思います。最後の年は単学年となり人数が少なくなるため、教育委員会と幼稚園で連携を図り、対応していきたいと考えています。

(参加者)

改めて、未就園児の保護者を対象とする説明会は開催するのでしょうか。

(教育委員会事務局)

必要に応じて別途、検討したいと考えています。

(参加者)

大楠地区の幼児教育を良い方向に向かうよう第一に考えてほしいです。

(教育委員会事務局)

幼児教育だけでなく、地域全体のニーズ等の広い視点で考えていく必要があると考えています。

2 質問に対する回答

(参加者)

横須賀市として、教育的な人数の目安はあるのでしょうか。

(回答)

本市では「第2期横須賀子ども未来プラン」を策定し、その中で主に教育を利用する児童(1号認定の子ども)の令和6年度までのニーズ量と定員を次のとおり推計しています。

○平成30年度実績

- ・ニーズ量(利用実績) 5,526人
- ・定員(実績) 6,735人

○令和6年度推計

- ・ニーズ量(推計) 4,293人
- ・定員(推計) 5,882人

(参加者)

大楠愛児園の待機児童は出ているのでしょうか。

(当日の回答)

確認できていませんが、待機児童はいると思います。

(修正回答)

後日改めて確認し、令和4年4月現在の大楠愛児園の待機児童はいないことを確認しました。

以上